

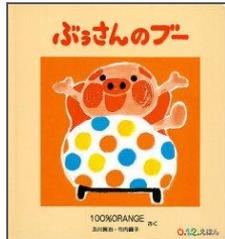
おはなしトレイン

2013.12

ふゆのワクワク号 幼児版

0さい(あかちゃん)から 5さいまでの みなさんに おすすめの本を 選びました。

0~2さい
のイチオシ!



さく/100%ORANGE
おいかわけんじ たけうちまゆこ
(及川賢治・竹内蘭子)
福音館書店

『ぶうさんのプー』

コブタのぶうさんは、いつでもどこでも「プープープー!」たのしいも、うれしいも、こまったも、いたいも、みーんな「プー!」「プー」という言葉は、赤ちゃんにとって発音しやすい言葉です。赤ちゃんもお母さんも、ぶうさんと一緒に「プープー」声に出してみませんか? ページいっぱい描かれたはっきりとした色合いの絵が楽しい絵本です。

3~4さい
のイチオシ!



さく/平田昌広 絵/鈴木まもる
佼成出版社

『おとうさんはうんてんし』

ぼくのおとうさんは電車のうんてんし。背筋をピンとのばして運転する姿はかっこいい! おとうさんは仕事のことだけでなく、時間のことや、それ以上に大切なことも教えてくれます。駅の様子や車両が細かく描かれていて、電車好きにはたまらない一冊です。

5~6さい
のイチオシ!



さく/バーナード・ウェーバー
やく/小杉佐恵子 (大日本図書)

『ワニのライルがやってきた』

東88番通りの家に引っ越してきたプリムさんの家族は、家の中から変な音がすることに気がきました。「シュツ、シュツ、バジャン、バジャン…」なんと、そこにいたのはワニだったのです!そして、へんてこりんな男がやってきて1通のてがみを置いていきます。てがみには、そのワニについて書かれていたのですが…。

0～2さい



さく／なかがわりえこ
え／やまわきゆりこ
(グランママ社)

『おやすみ』

この絵本に登場する犬の子どもたちは、元気いっぱい。思いっきりどろんこ遊びをした後は、お風呂に入って、ごはんを食べて、歯をみがいて、おはなしを聞いて、子守唄を聴いていると、あらあら眠くなってきたみたい。
柔らかい色使いのイラストと、繰り返されるフレーズが赤ちゃんに心地よく響きます。
ぜひおやすみ前に読んであげてください。

3～4さい

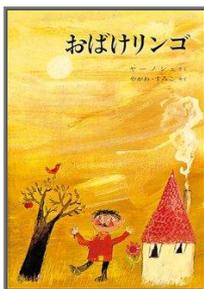


さく／ヘレン・クーパー
やく／かわだあゆこ
(アスラン書房)

『しょうで きまり』

なかよしのねこ、りす、あひるは、かぼちゃスープをつくるのが大の得意。ある日、味の決め手の「しお」が切れてしまい、「しお」を求めて街へ出かけます。生まれて初めての街にあひるは大興奮。ぜったい離れないという約束も忘れて、早速迷子になってしまいました。さて、あひるはどこへ行ってしまったのでしょうか？

5～6さい



さく／ヤーノシュ やく／やがわすみこ
(福音館書店)

『おばけリンゴ』

ワルターのリンゴの木にはこれまで実がなかったことがありません。悲しんだワルターの祈りが届き、花がひとつだけ咲きました。せっせと世話をして巨大なリンゴにそだてますが、こんどは大きすぎてちっとも売れません。がっかりするワルターですが、このあと巨大リンゴが大活躍することに…。